出力日：2026年11月04日

大学出版部協会フェア　2026《九州大学出版会・5点》

フェア期間：2026年11月11日～2027年1月18日

1



子ども社会学 :子どもの社会化研究

税込￥14,300

KDC:C15

ジェラルド・ハンデル:スペンサー・Ｅ．ケイヒル　　NDC:371.45

2026/05　　九州大学出版会　　６４２ｐ　　A5ヘン 22cm

ISBN:9784798504001　　情報詳細へのリンク

家族・学校・仲間集団・メディアなど、子どもの生活世界を丹念にたどりながら、子どもと社会の関係を解き明かす名著。待望の翻訳。

2



若者言葉の研究 :ＳＮＳ時代の言語変化

税込￥3,300

KDC:B15

堀尾佳以　　NDC:814.9

2022/05　　九州大学出版会　　２２８ｐ　　46 20cm

ISBN:9784798503240　　情報詳細へのリンク

「激おこぷんぷん丸」の言語学。常に生まれ、変化し、そして消えていく若者言葉。社会言語学の知見と豊富な実例から、そのルールと体系を分析する。

3



映画から社会を観る、社会から映画を見る :小津安二郎・野村芳太郎・是枝裕和の作品を観解く

税込￥5,280

KDC:C11

KDC:B55

叶堂隆三　　NDC:778.21

2026/10　　九州大学出版会　　３２２ｐ　　B5 22cm

ISBN:9784798504094　　情報詳細へのリンク

われわれは、どう変わったか。『東京物語』『砂の器』『誰も知らない』など、戦後８０年にわたる三人の映画監督の作品に描かれた家族のあり様から、日本の社会や家族の変容を社会学的に解明する。

4



世界遺産キリシタンの里 :長崎・天草の信仰史をたずねる

税込￥1,980

KDC:A22

KDC:A35

(ＫＵＰ選書)

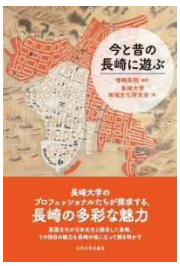
本馬貞夫　　NDC:198.221

2021/01　　九州大学出版会　　２４８ｐ　　46 19cm

ISBN:9784798502946　　情報詳細へのリンク

「長崎県長崎学アドバイザー」である著者が、長崎・天草の潜伏キリシタンの里を訪ね、史料をもとにその魅力と知られざる歴史を分かりやすく解説。「浦上一番崩れ」に関する新知見も紹介。世界遺産ガイドブックやバーチャルな史跡探訪書としても最適な一冊。

5



今と昔の長崎に遊ぶ

税込￥2,640

KDC:A35

増＝英明:長崎大学地域文化研究会　　NDC:219.3

2021/07　　九州大学出版会　　３１３ｐ　　A5 22cm

ISBN:9784798503103　　情報詳細へのリンク

開港四五〇年、長崎を読む！長崎大学のプロフェッショナルたちが探求する、長崎の多彩な魅力。異国文化が日本文化と融合した長崎。その独自の魅力を長崎の地に立って解き明かす。

Copyright (C) 2026 株式会社紀伊國屋書店